

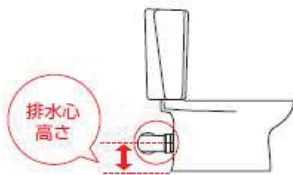
■ 壁排水の解説

条件確認1 排水心高さと排水管形状

●床から排水管までの高さの確認

便器は、排水心高さの違いにより155mm・120mm・100mmの3種類があります。

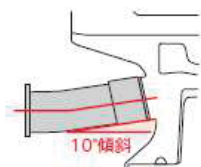
155mm^{※1} 120mm 100mm



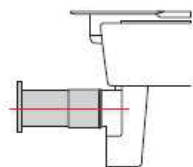
●排水管形状の確認

排水管形状には「10°傾斜^{※1}」と「ストレート」の2種類があります。

10°傾斜 ストレート



洗落とし系便器



サイホン系便器

取り替え前の品番の排水心高さ・便器前出寸法

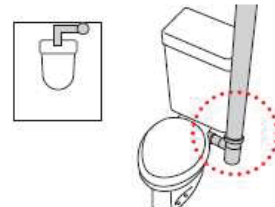
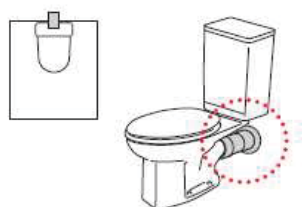
既設便器の 代表品番 (TOTO)	排水心 高さ	前出寸法		排水管 形状	排水管抜き方向	
		後ろ抜き	左右抜き		後ろ抜き	左右抜き
C14PR C417R C730P C760P C770P	155mm ^{※1}	707	707	10°傾斜	148	120
		746	751			
		756	756			
		765	765			
		757	757			
C721PR		775	845	ストレート	155	120
C780P	120mm	785	900	ストレート	120	120
C720PR	100mm	775	855	ストレート	100	120

※対応範囲外の左右抜き・後ろ抜きには対応できません。
※既設便器を取り替える場合、既設便器の設置痕や既設便器を固定している固定穴が隠れずに見える場合があります。その際には、床材(クッションフロアなど)の張り替えをおすすめします。
※ネオレストAH・RH・DHタイプにおいて、既存の給水位置に給水ホースを接続する場合には、オプション給水ホースが必要となります。
※レストバルF・レストバルは左右後ろ抜きには対応できません。
※便器を防火区画貫通部より1m以内に設置される場合は、事前に所轄消防署にご確認ください。その指示に従ってください。
防火区画貫通部に対応した部品も準備しています。(ネオレスト手洗器付・GG手洗器付・レストバルF・レストバルは除く)
※1 10°傾斜品は排水管抜き方向で排水心高さが148mmと155mmになりますが、便宜上155mmで表示しております。

条件確認2 排水方向

排水管がどの方向に抜けているか確認してください。

後ろ抜き 左右抜き 室内排水立管



条件確認3 排水管接続方法

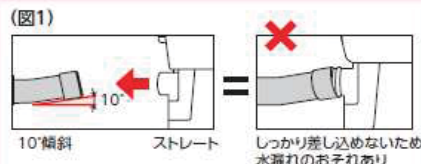
既設排水管の対応により、便器取り替えには2つの方法があります。

流用する カットする

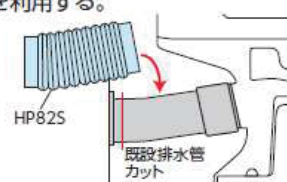
既設排水管をそのまま流用する。



注意 ●排水管接続部形状が異なるタイプの便器同士では、排水管流用では取り替えできません(図1)。(排水管加工が必要)



既設排水管(塩ビ管)をカットし排水ジョイント^{※1}を利用する。



^{※1} 銅管・鋳鉄管の場合は対応できません。